



校長室だより 6月

こころが動く



6月になり、学校は、本格的に再開しました。子どもたちは、毎日、校長室の隣にある保健室に「保健カード」を届けに来ています。校長室前の廊下から聞こえる、子どもたちのはずむような元気な声は、とてもうれしく、毎日元気をもらっています。

そして、校長室のテーブルにあるバラの花（校務員さんが花壇のバラを生けてくれました）に誘われて、子どもたちが校長室に入ってきます。バラが入った花瓶を、子どもたちの目の前に差し出すと、じっと見て、ニコッと笑って、手を伸ばします。顔を近づけて香りがかぐしくさも見られます。先生たちは、「バラの花だよ」「いい匂いだね」と言葉をかけます。すると、また、手をのばします。ゆっくりと「きれいだね」と言葉で表現する子どももいます。



こういった子どもたちの表現や行動は、「こころが動いた」ことによって表出されると考えています。いつもの学習が始まっています。子どもたちが、安心して心を動かしながら学ぶことができるよう、学びの環境を整えていきたいと思います。

令和2年6月 ～ 明るく 正しく たくましく ～

福島県立郡山支援学校 校長 齊藤 恵子

